

講義名	日本語C（書く）			授業形態	
担当教員	福岡 寿美子	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 3 時間		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

留学生がアカデミック・ライティングについて学ぶ。
 留学生がピア・ラーニング(Peer Learning)を行うことによって、相互リソース化(自分も相手もお互いに貢献できる互恵的存在である)、批判的思考の獲得(対話から「問い」が生まれるプロセスを重視する)、社会的関係の構築(背景の異なる多様な「他者」と向きあい、認めあう態度を身につける)ができる。

到達目標

留学生が「大学での学び」のための日本語のライティングとコミュニケーションができるようになることを到達目標とする。
 留学生がピア・レスポンスを行うことによって、より良い文章が作成できるようになることを到達目標とする。
 留学生がアカデミック・ライティングを通して、考える学習を行うようになることを到達目標とする。
 到達目標においては、課題の提出、中間試験、期末試験等において、その到達度を測る。

提出課題

ワークシート、課題作文、ルーブリック等、授業中にその都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各学生が提出した課題（ワークシート、作文、ルーブリック等）について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、次の授業において、各々に返却をし、全体としての講評・解説等も行い、フィードバックをする。

評価の基準

期末試験（30％）、中間試験（10％）、課題の提出（30％）、授業参加度（30％）等による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。
 全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
 連続3回で1回欠席とする。
 ピア・レスポンスを行う。
 真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

.改訂版大学・大学院留学生の日本語 作文編.	アカデミック・ジャパニーズ研究会	アルク	1,600	9784757426320
------------------------	------------------	-----	-------	---------------

その他

『ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション・プレゼンテーションとライティング』大島淳生、大塚理恵子、岩田夏穂、池田玲子著 ひつじ書房
 『大学で学ぶための日本語ライティング 短文からレポート作成まで』佐々木清枝、編井和代、船尾昌代著 ジャパンタイムス
 『改訂版留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子、佐藤不二子著 スリーエーネットワーク

授業計画

- イントロダクション：授業の進め方および注意事項、スケジュール、教材、評価方法、自己紹介作文、他
 【予習】シラバスを熟読し、その内容を理解して確認する。（1時間）
 【復習】自己紹介作文を書く。（3時間）
- ピア活動の意義について、他
 【予習】テキスト（プリント）のピア活動の意義について読む。（2時間）
 【復習】ピア活動の意義について深く理解する。（2時間）
- テーマ1について、他
 【予習】テキスト（プリント）の「自分をアピールする文を書く」の準備学習をする。（2時間）
 【復習】各表現について確認・復習をし、理解を深める。（2時間）
- テーマ2についてディスカッション、他
 【予習】テキスト（プリント）の「自分をアピールする文を書く」の課題について考える。（2時間）
 【復習】「自分をアピールする文を書く」の課題について整理し、理解を深める。（2時間）
- 文章作成、他
 【予習】作文を書く。（2時間）
 【復習】作文を自己推敲する。（2時間）
- ピア・レスポンス、他
 【予習】「ピア・レスポンスチェックシート」を読んで理解する。（2時間）
 【復習】ピア・レスポンス資料を確認する。（2時間）
- 文章作成、他
 【予習】作文を書く。（2時間）
 【復習】作文を自己推敲する。（2時間）
- 中間理解度試験の実施およびその解説、他
 【予習】中間理解度試験について勉強する。（3時間）
 【復習】中間理解度試験について確認・復習をする。（1時間）
- テーマ2について、他
 【予習】テーマを考える。（2時間）
 【復習】テーマについて再確認をし、決定する。（2時間）
- テーマ2についてディスカッション、他
 【予習】テーマに関する資料を収集する。（2時間）
 【復習】収集した資料を確認し、まとめる。（2時間）
- 文章作成、他
 【予習】作文を書く。（2時間）
 【復習】作文を自己推敲する。（2時間）
- ピア・レスポンス、他
 【予習】「ピア・レスポンスチェックシート」を確認する。（2時間）
 【復習】ピア・レスポンス資料を確認する。（2時間）
- 文章作成、他
 【予習】作文を書く。（2時間）
 【復習】作文を自己推敲する。（2時間）
- ルーブリック作成、フィードバック、他
 【予習】ルーブリックの規程（項目）、達成度について理解する。ルーブリック例を確認する。（2時間）
 【復習】作成したルーブリックを基に振り返る。（2時間）
- 総復習および期末試験について、課題提出、他
 【予習】最終まとめシートを基に確認・復習をする。期末試験のための総復習をする。（3時間）
 【復習】期末試験のための総確認をして、総復習をする。（1時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

必要な日本語作文能力を身につけ、活用することができる。
 ピア・ラーニング、ピア・レスポンスを通して、仲間と協働して、物事を成し遂げることができ、他者との意見の違いや立場・考え方の違いを理解し、協力して物事を進めることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考